

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

日本製紙株式会社 殿

令和7年10月31日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 原料を木質チップとすることに対する価値訴求や社会的受容性を高めるための仕組みづくりや一般消費者とのコミュニケーション戦略を示すこと。なお、当該仕組みづくりや戦略の検討においては、「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに参画している他の製紙事業者等と連携して進めること。
- ・ バイオリファイナリー実現に向け、事業化時点のポートフォリオ全体の中で、バイオエタノールをどの程度販売する必要があるのか、その数値根拠や市場性を精緻化し、経営層による明確なコミットメントを示すこと。
- ・ CORSIA 認証や LCA を含めたルール形成の協調領域部分については、製紙企業間でさらなる連携を進めること。加えて、ルールテイクではなく、ルールメイクを推進できるよう、これらの取り組みに関する課題と対応状況のロードマップを示すこと。

以上